

二戸農業改良普及センター  
だより

第 82 号

平成 30 年 9 月 25 日 発行

二戸農業改良普及センター

二戸市石切所字荷渡 6-3

TEL: 0195-23-9208

FAX: 0195-23-9387

かしおぺあ

URL : [http://www.pref.iwate.jp/kenpoku/nino\\_noukai/index.html](http://www.pref.iwate.jp/kenpoku/nino_noukai/index.html)

(二戸農業改良普及センター)  

e-mail : [CE0027@pref.iwate.jp](mailto:CE0027@pref.iwate.jp)



『二戸地域雑穀栽培現地検討会』 8月22日

雑穀生産の現場では、産地の維持・拡大へ向けて機械化の取組みが始まっています。検討会では、若手生産者による機械移植栽培ほ場を訪れました。

平成 30 年度の折返しにあたって

二戸農業改良普及センター所長 三田 重雄

平成 30 年度も折返しの時期を迎えました。今年の農作物の生育は全体的に順調であり、今後、りんごの本格的な出荷が始まります。

農業改良普及センターでは地域農業の担い手として期待される新規就農者の早期自立に向け、技術向上研修や先進事例から栽培管理のポイントを学ぶ場の設定等主に安定生産に向けた現地活動を実施して参りました。

また、生産農家の高齢化や労力不足に対応した雇用労力の安定確保や栽培省力化に向けた機械導入の重要性が今後、増大していくものと思います。

そこで、現地活動で得られた各実証成果・調査結果を今後開催される実績検討会等で提供し、生産性向上や組織運営強化等の参考にして頂きたいと考えています。併せて、今年の振り返りを行ない、成果と課題を整理し生産性を高める工夫や経営体質の強化に向け共に取組んでいきたいと考えています。

## 第1回新規就農者技術向上研修会を開催しました！

～農薬の適正使用、野菜の病虫害診断と生育診断について学ぶ～

(6月11日 記述者 藤田 智美)

二戸地方農林水産振興協議会は、今年度、就農概ね1～3年目の新規就農者を対象に「新規就農者技術向上研修会」を年4回開催します。

1回目は、6月5日に二戸地区合同庁舎で、「農薬の正しい使い方を学ぼう！」、「野菜の病虫害診断と生育診断について学ぼう！」をテーマに開催しました。新規就農者に加え、技術的な研修を希望する就農希望者が、合わせて11名受講し、農薬の適正使用、病虫害や生理障害の診断、対策等を学びました。

受講生は野菜栽培者が多かったものの、その経営品目は多岐にわたっていました。このため、自分の経営品目以外についても幅広く勉強できて良かったとの声の一方で、各々の品目について、生育状況等に応じた対処方法を、さらに詳しく聞きたかった、との感想も聞かれました。

普及センターでは、受講生の意向等を考慮し、今後も新規就農者及び就農希望者が農業経営に関わる知識・情報・技術を学ぶ機会を作り、就農定着を支援していきます。



## トマト生産の優良事例から学ぶ！

～高単収生産者視察研修会を開催～

(6月25日 記述者 赤坂 尚生)

J A 新いわて奥中山トマト専門部では昨年過去最高の販売額1億5千万円を達成しました。今年度はさらなる生産拡大を目指して、サブソイラの実演会等、生産量向上に向けた取り組みを行っています。今回は先進地の取り組みを学び、今後の栽培に生かすため、6月14日に八幡平市で高単収生産者視察研修会を開催しました。

研修会では視察先の生産者から省力化を目指した作業の工夫や労働力の状況、課題等の説明を聞いた後、実際に圃場を見学しました。視察先の生産者は省力化のためにいくつかの栽培方法や品種を組み合わせるなど独自に様々な工夫を凝らしており、参加した生産者は興味深そうに説明を聞いていました。質問等を通して生産者間の交流も積極的に行われており、有意義な視察研修となりました。

トマト専門部では秋にも今回の視察先を訪問する予定です。普及センターでは更なる生産拡大に向けて今後も支援していきます。



## 美味しい果実ですくすく育て！

～金田一保育所園児によるブルーベリー摘み取り体験～

(7月25日 記述者 戸田沢 ひかる)

7月20日、金田一保育所の4～5歳児を対象に、鉢植えブルーベリーの摘み取り体験が開催されました。

この取組みは、二戸地方観光農業推進協議会の事業として行われ、今年で3年目を迎えます。

園児たちは、金田一地区で観光ブルーベリー園を営む中里さんから摘み取り方を教わり、それぞれ味の異なる品種「パークレー」、「ブルーレイ」の摘み取りを体験しました。

初めは、連日の暑さのせいかわず元気がなかった子供たちでしたが、いざ摘み取りを始めると、「どの実が一番大きいかな」「こんなに大きな実がとれた」などと、ブルーベリーのよさを丸くしながら、いきいきと楽しんでいました。

中里さんは、「二戸は高品質な果物が生産されるフルーツの里。子供たちには、果物の旬を五感で感じながら育てほしい」と目を細めていました。

普及センターでは、これからも消費者交流活動を通じた二戸のブランド果物振興を支援していきます。



## きゅうり葉摘み研修会を開催

～葉摘み作業で管内のきゅうり生産をお手伝い～

(7月26日 記述者 安久津 留奈)

二戸管内では、きゅうり栽培が盛んに行われていますが、収穫最盛期には複数の管理が重なり、重要な管理である葉摘み作業が間に合わないという課題があります。

この課題を解決するため、労働力不足解消に向け、平成18年から、農協と市、県が連携し、葉摘み作業を専門として行う「葉摘み隊」をきゅうり生産組合が雇用する取組が行われています。今年度は葉摘み隊が作業手順を学ぶ研修会を7月18日に開催しました。

研修会では、きゅうりの生態や葉摘み作業を学ぶため、JA 新いわてで作成した農作業 DVD を上映し、その後実際に圃場できゅうりを見ながら、葉摘み作業について説明しました。

参加者の中には葉摘みの経験が無い方もいましたが、圃場できゅうりの生態について理解を深め、研修終盤には自らハサミを使い、積極的に作業を行っていました。

今年度の葉摘み隊は7月20日から始動し、9月15日まで活躍する計画となっています。



# ～就農相談会を開催します～

農業を始めようと思っている方のご相談に応じます。相談料無料、予約不要です。就農に関する相談をしたい方にお知らせください。

## □ 相談内容

- ・ 農業技術、経営ノウハウ ・ 農地確保の方法 ・ 就農支援情報の提供
- ・ その他、就農にあたって必要なこと 等

	開催日	時間	場所	住所
二戸会場	10月13日 (土)	10:00 ～ 14:00	JA新岩手 二戸農業技術センター 1階会議室	二戸市石切所字 荷渡22-7
軽米会場	10月21日 (日)	11:00 ～ 14:00	軽米町役場	軽米町大字軽米 10-85
九戸会場	10月28日 (日)	10:00 ～ 13:00	九戸村体育センター	九戸村大字伊保内 25-94-1



## □ お問い合わせ先

二戸会場：二戸市産業振興部農林課 (Tel 0195-23-0180)

軽米会場：軽米町産業振興課 (Tel 0195-46-2111)

九戸会場：九戸村農林建設課 (Tel 0195-42-2111)

事務局：二戸地方農林水産振興協議会担い手育成部会

(二戸農業改良普及センター Tel 0195-23-9208)

# 土壌診断を受け付けています

農作物の生産性向上や、施肥コストの低減のため、定期的に土壌診断を受診しましょう。

## □ 受付期間

**平成30年11月30日(金)まで**

※分析には2～3ヶ月を要します。なるべく早い提出をお願いします。

## □ 提出先

- ・ JA 新いわて北部営農経済センター米穀園芸課  
九戸地区担当課 軽米地区担当課 舌崎資材センター
- ・ JA 新いわて奥中山営農経済センター米穀園芸課  
一戸地区担当課 浄法寺地区担当課
- ・ 二戸農業改良普及センター